

I ザ・借金

◆お金を貸してと頼まれたけど……

5 きみは知らない人から「お金を貸してくれ」と頼まれて、「はい、どうぞ」とすぐ貸しますか。貸すわけないヨ！って、どうしてですか。「だって、ちゃんと返してくれるかどうか、わからないじゃん」。そのとおりです。貸したお金は返してもらわなければなりません。

だから、本当に約束どおり返してくれる人かどうか、そこが誰でも一番心配なわけです。



◆“担保” がなければ…

10 一昔前の人は、お金に困ると、着物や高級時計などをもって質屋へ行き、それらを預けるのと交換にお金を借りました。この時、質屋に預けたものが担保（質草）と呼ばれます。約束の日までに返せなかったときは、この預けた物がお金の代わりに質屋のものとなります。

15 もっと多額の借金を申し込む場合は、貸し手は借り手に本当に返せる能力があるかどうか、慎重に調査します。そして、土地や家を担保にして、やっと貸してもらえるのです。

担保とは

20 お金の借り手が借金の保証として貸し手に提供する物。借金などが返せなくなったときに、国（裁判所）の手続きで強制的に売られるなどし、その代金が返済金にあてられるものです。土地や家、マンションあるいは自動車などが担保になります。このような物による万一の保証のほかに、保証人のように人による担保もあります。



◆いつでもだれでも簡単に、でも……

たとえば「ちょっと旅行に行くお金が欲しいな」と思ったとき、消費者金融会社は無
人契約機やコンビニのATMでカードキャッシングができるサービスを提供しています。
今1万円しかもっていないあなたでも、クレジットを使えば、サインひとつで20万円も
するバイクを簡単に手に入れることができます。クレジットカードがあればもっと簡単 5
です。「いい時代」とあなたは思うかもしれません。

でも、おかしいと思いませんか。

◆よく考えてみよう

「旅行に行きたい」と思っても、お金がなくて誰も貸してくれないとしたら、あきらめ
るほかありません。10万円の現金を今もっている人でなければパソコンが買えないとし 10
たら、1万円しかないあなたはガマンするしかありません。

そこで、あなたはあきらめますか。それとも、クレジットや消費者ローンを使って旅
行に行くことや、パソコンを買うことを選びますか。

もちろん、住宅を手に入れるようなときには、ローンはなくてはならないものです。
でも、お金がないのに目の前にある商品を手にいれようと、クレジットやローンを安易 15
に利用するのは危険です。無理なく返済できるかどうか、よく考えてみる必要がありま
す。

